

自衛隊神奈川地方協力本部

護衛艦「いずも」 研修を支援

神奈川地方協力本部横須賀地域事務所（所長 大里 3海佐）は、12月11日（金）、葉山防衛協会28名の護衛艦「いずも」研修を支援した。

海上自衛隊横須賀基地逸見岸壁に係留中の「いずも」艦内を見学した参加者たちは「大型の会議室や医療設備があり、波による動揺も全くなく艦の中にいる感じがしない」とその大きさに驚いていた。

横須賀地域事務所は、「今後も、部隊研修等支援を行い、自衛隊の活動をアピールしていきたい」としている。



初めて間近で見て歓喜する参加者



飛行甲板上で艦橋構造物について説明の様子



格納庫にて航空機の説明の様子

航空自衛隊入間基地CH-47体験搭乗



CH-47をバックに記念撮影



体験搭乗中のCH-47機内の様子

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 1等海佐 松田 辰雄）は、12月13日（日）、航空自衛隊入間基地において、募集対象者や援護・即応予備自衛官雇用企業60名に対し、CH-47の体験搭乗を実施した。

入間基地に到着後、参加者はヘリ隊からドックタグを受領し、搭乗前の安全教育を受けた。初めて聞くヘリコプターの説明に皆、興味深そうに聞き入り、その後、2機に分かれ体験搭乗を実施した。天候はあいにくの曇り空であったが、計器が並ぶ操縦席やパイロットの操縦姿、そして空からのスカイツリーの眺望に、参加者のテンションはヘリコプターのように上昇していった。

体験搭乗を終えた参加者からは「とても充実した体験でした。憧れていたパイロットの仕事を実際に見れてとても参考になった」と、興奮した様子で話していた。

神奈川地本は、「今後も、部外者に対し、自衛隊をアピール出来る各種イベントを積極的に計画し、募集及び防衛基盤の拡充に努力していく」としている。

親子で潜水艦見学ツアーを体験



第2潜水隊群の概要説明

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 1等海佐 松田 辰雄）は、12月13日（日）、神奈川地本広報センターイベント「潜水艦見学ツアー」を実施した。

ツアーは一般公募から抽選で選ばれた、募集対象者を含む親子等ペア12組24名が参加した。

当日は第2潜水隊群の支援を受け、潜水艦の概要説明の後に2潜水隊所属の潜水艦へ実際に乗り込み、案内役の隊員から艦内の仕組みなどの説明を受けた。

参加者たちも普段なかなか目にするこのできない潜水艦内部を見学できたということで、食い入るように隊員の説明に耳を傾け、潜望鏡を実際に操作する等の貴重な体験を通じて、徐々に緊張感もほぐれていった様子であった。

潜水艦見学のあとはマイクロバスに乗り、米軍基地内を見学し、案内役の隊員の軽妙な施設紹介のトークで車内も和やかな雰囲気包まれ、非日常の場所にいたながらも見学ツアーを思い思いに楽しんでいた。

神奈川地本は、「今後も、部外者に対し自衛隊をアピールできる各種イベントを積極的に計画し、募集及び防衛基盤の拡充に努力していく」としている。